



體驗農園風景

加工體驗風景



農園 杉・五兵衛 の循環



杉・五兵衛の「有機循環農法の輪」は
農園の動物たち、スタッフ、自然の力が交わり、
そこにお客様が食事に来てくださることで完成します。
また杉・五兵衛では食器洗浄やトイレ洗浄にも重曹電解水や微生物活性液を使用しています。
化学薬品ゼロへの挑戦中です。

農耕は滅びず

Good Earth Long Interview より抜粋

農園「杉・五兵衛」は「農業を超えた農耕の園」である。

野菜の畑もあるが、その畑には竹林があり、草花が咲き乱れ、ロバやウサギ、ヒツジなどの小動物が遊ぶ。

収穫した農産物をその場で味わえる食事処もある。

訪れる人は農産物を味わうだけでなく、体じゅうで「農耕」に触れ、やすらぎを体験する。

園主の堅島五兵衛さんは、単品大量生産が推進された一九七〇年代に、少量多品目の生産から加工・販売までを、すべて営む農業経営をめざした。

都市農業の限界と可能性を熟慮した末に、生産という一次産業、加工という二次産業、外食提供という三次産業、子どもの情操教育という四次産業、そして人々の心に安らぎをあたえる心のサービス業としての五次産業までを包括する農耕文化の復権をしっかりと夢に見たから。

のじまごくい

堅島五兵衛

1949年生まれ。数百年前から代々続く農家の長男として生まれる。

近畿大学農学部、大阪府立大学研究生を経て就農。

同時に、農園「杉・五兵衛」を設立。園内で、農産物を料理した食事を提供することで、生産・加工・販売をすべて一貫して行う農業経営を始める。

5haの農園内には、ブドウ、スモモ、カキ、クリ、ミカンなどの小さな果樹園や野菜畠、イチゴのハウス、シイタケのほか、ツバキ温室、花ショウブ、梅園、菜の花畠、コスモス畠など、四季折々の草花もふんだんに植えられている。ロバ約30頭とヤギ、ヒツジ、ウサギなどの小動物や、木の幹で作ったブランコなどがある遊び場も。

農耕文化が本来持っていた豊かさや美しさを体現する空間を作り出した。